

牛久：学校周辺に見る自然

第51号 ひたち野うしく小

2021年1月16日発行

< 秋のみずべ公園 ～⑩その他の動物 >

ひたち野うしく小4年生と歩いた秋のみずべ公園、今回は、その他の動物です。



まずは、いつも人気者の二ホンカナヘビ。それにしても、長いしっぽですね。草の上を移動する時に、バランスを保つためなのだそうですよ。木の上で生活するサルの仲間もしっぽが長いですね。冬は日当たりのよい斜面の地中などで、仮死状態になって冬眠するそうです。

長いしっぽの二ホンカナヘビ。



葉の上でじっとしていたニホンアマガエル（左）と、落ち葉の中にもぐっていたニホンアマガエル（右）。

続いて、アマガエル。もようや色が変わるので別の種類かと思うこともありますが、どちらも二ホンアマガエルです。こちら、冬には畑など土の中にもぐって冬眠します。畑を耕して、うっかり掘り起こしてしまうこともあります。そんな時は、ていねいにうめもどしてあげてください。



そして、カタツムリのなかま、ウスカワマイマイ。こげ茶色のもようが見えますが、これはからのもようではなく、からがうすいのでからの内側にあるまくのもようが透けて見えているのだそうです。ウスカワマイマイやナメクジには病気になる小さな虫が寄生していることがあるので、素手でさわらないようにしましょう。

【理科支援員：宮内】

特ちょうあるもようのウスカワマイマイ。